

柘植地域

まちづくりだより

第320号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)



〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日 令和七(2025)年九月一日(月)

柘植地域俳句コーナー
映画果つ
夕立は既に
彼方へと
西野 登志子

第2回『いがまち地区中学校区再編 検討協議会』が開催されました

7月28日(月)午後7時、西柘植地区市民センター(ふるさと会館いが)大会議室に於いて、第2回目と為る『いがまち地区中学校区再編検討協議会』(柘植中学校と霊峰中学校の統合)が開催されました。

【出席者】《第1号委員》柘植小学校・松本校長、西柘植小学校・里田校長、壬生野小学校・稲森校長、柘植中学校・澤校長、霊峰中学校・辻校長 《第2号委員》柘植小学校育友会・平野会長、西柘植小学校PTA・内田会長、壬生野小学校PTA・今井会長、柘植中学校PTSA・西田会長、霊峰中学校PTA会長・森田会長 《第3号委員》柘植地域まちづくり協議会・宮田会長、西柘植地域まちづくり協議会・奥澤会長、壬生野地域まちづくり協議会・内山会長 《事務局》伊賀市教育委員会・澤田教育長、川部事務局長、中事務局次長、西口学校教育課長、森口教育総務課長、猪口教育総務課長、若林教育総務課員(委員13名、事務局7名、総計20名)

【主要議事】

① 合併後に使用する校舎となる霊峰中学校の施設見学会について

〈見学日時〉8月3日(日)、8月7日(木)
〈対象〉柘植小学校、西柘植小学校、壬生野小学校、柘植中学校に通う生徒・保護者

② 校名の公募について・新中学校の校名選定方法として、児童・生徒、保護者、地区住民(卒業生含む)の投票に依り校名候補を決定(令和7年12月末/教委会議)

③ 通学方法について・現時点での各地区の通学手段/利用出来る公共交通手段の現状/交通安全プログラムで対応する箇所/想定される通学路・通学手段(スクールバス・行政バス・JR関西線・徒歩・自転車) /伊賀市に於ける負担軽減措置について・遠距離通学補助金制度(現在は合併前の各地域の制度がそのまま残っている状態であり、令和8年度に向け見直しを行う見込み。全校で条件等を統一していく方針)
④ 情報を持ち寄り、各団体で意見等の集約を図る。

【義務教育9年間を見通した学校体系】
校種間の枠を超え、連携して多様化・複雑化する課題の解決に当たる事をより一層求められている事からこれまでの小学校・中学校の単位ではなく、小学校と中学校の接続・連携の在り方を踏まえて、義務教育9年間を見通した学校体系について検討が必要となっています。

【小中一貫型の学校・義務教育学校の設置】
伊賀市では、各中学校区単位の小中学校の教職員が情報交換や研修などを通じて、小学校から中学校への円滑な接続を図る事を目指して小中連携教育に取り組んでいます。児童生徒のより良い学びと多様化複雑化する学校課題に対応する為、義務教育9年間を見通した学校体系の一つとして小中一貫教育への取組みを検討する必要があります。
【小規模校の存続を考えた特認校制度】
小規模校を存続させる場合、児童生徒の学びの為に充実した教育を前提とし、小規模校の良さを活かした課題を緩和する方策の検討が必要です。又、地域と連携した自然や伝統等の地域環境を活かした小人数での特色有る教育活動などを取り入れた学校運営についても必要に応じて検討する事が考えられます。



令和七年度「住民自治研修会」開催

【伊賀市地域連携部】

少子高齢化、人口減少が加速するなか、持続可能なまちづくりの取り組みの一助となるよう本年度も地域連携部が企画。7月31日(木)ゆめぼりセンターに於いて、伊賀市内38の住民自治協議会会長、副会長、事務局長等、各まち協から2名程度の参集

を以って開催された。今年の演題は「持続可能な地域のために私たちができること、やるべきこと」講師は、皇學館大学教養部、センター、池山

敦氏。稲森稔尚伊賀市長の冒頭挨拶後、講演に入り、①「まちづくりの取組でもっと暮らしやすい街に」をテーマに、江戸時代、明治、昭和、令和の時代の地域の姿。

②「まちづくり」とは・・・私達の生活は何で支えられているのでしょうか？

暮らしの緩衝帯としての「まちづくり活動」

③ もっと暮らしやすい「まち」に・・・

(1) 社会関係資本「調整された諸活動を活発にすることによって社会の効率性を改善できる、信頼・規範・ネットワークといった社会組織の特徴」(パットナム^{1993:206-207})

(2) 信頼／規範／ネットワーク

(3) どうすれば社会関係資本は増えるのか・・・ストックとフロー

④ レクチャーまとめ

① 地域の姿はこれまでも変わっており、これからも変わり続ける。

① 災害が激甚化する中、地域のつながりといったものに注目が高まっている。

③ 様々な分野でまちづくりが「暮らしの緩衝帯」となっている。

② 社会関係資本という概念が各分野で注目されている。地域におけるそれは、まちづくり活動を通して生まれる。

「ワーク」人ロデータで見る地域の未来、各々の地域に於ける人口ピラミッドの作成(2020年、2040年)

2、各地域総人口推移グラフの作成(棒グラフ)

3、高齢化率推移グラフの作成(折れ線グラフ)

▼人口減少／高齢化の波は抗い様も無く少子高齢化社会に於ける持続可能な地域にする為の施策とは？

【出前講座】

「防犯、消費者トラブルについて」

生活環境部会長 堀田 稔

生活環境部会では、7月9日(水)14時から15時30分まで、柘植地区市民センターにて「出前講座」(防犯、消費者トラブルについて)を行いました。

特に昨今被害が出ている特殊詐欺、消費者トラブル(架空請求等)について、伊賀市市民生活課に出前講座をお願いしました。

伊賀市役所から2名、伊賀警察署から1名の講師を迎え、「詐欺の手口」等のビデオを見ながら、詐欺や消費者トラブルに巻き込まれないようにするには、どうしたら良いのか教えて頂きました。

また、参加者からの体験談も出し合い、交流を深めました。



第8回 つげこ夏祭り

【主催】教育文化部会
部会長 増岡 一成

7月27日(日)、第8回「つげこ夏祭り」を開催しました。うだるような暑さが続くなかでも、奥余野の河原はまさに別世界。涼しい森の風と川のせせらぎ、セミの声に囲まれて、総勢40人が歓声を上げながら、



川遊びや水鉄砲などを楽しみました。いっぱい遊んだあとは、お待ちかねの昼ごはん。自然のなかで食べるカレーライスとスイカは格別でした。
今年には中学生の有志もスタッフに加わり、ますます充実した夏祭りとなりました。↓



◆9月度／会議 行事日程◆

9月4日(木)～6日(土) 三重県知事選挙・三重県議会議員補欠選挙・期日前投票「於」ふるさと会館
9月6日(土) 19時 健康福祉部会
9月7日(日) 三重県知事選挙・三重県議会議員補欠選挙
9月9日(火) 14時 柘植まち協役員会
9月11日(木) 19時 柘植12区連絡協議会
9月19日(金) 19時 柘植まち協運営委員会
9月21日(日)～30日(火) 秋の全国交通安全運動
10月3日(金) 19時 つげ福祉ネットワーク会議

伊賀上野ライトアップイベント

【お城のまわり】伊賀市産業振興部

8月9日・10日(土・日)夕方5時から上野公園内、伊賀上野城周辺の歴史的建造物を彩るライトアップイベントが開催されました。



「お城のまわりの俳聖殿芭蕉翁記念館上野公園本丸広場・旧上野市庁舎上野高等学校・校舎・上野小学校体育館がライトアップされた夏の夜空に彩られました。」



【主催】お城の周りライトアップイベント実施委員会【共催】(公財)伊賀市文化都市協会【後援】三重県教育委員会、伊賀市教育委員会、名張市教育委員会、伊賀鉄道(株)、伊賀上野観光協会、上野商工会議所(株)まちづくり伊賀上野「(公財)伊賀文化産業協会」三重県組合

伊賀上野観光協会、上野商工会議所(株)まちづくり伊賀上野「(公財)伊賀文化産業協会」三重県組合

★☆☆編集後記☆☆★

赤々と日はつれなくも秋の風【松尾芭蕉】

▼元禄二(68⁹)年8月31日、小松への道中金沢での句会で披露された句《奥の細道・所収》太陽はまだ強く照りつけて残暑の厳しさは変わらないが、ふと吹いた涼しい風に秋の気配を感じた。

▼此の句は、古今和歌集で藤原敏行朝臣が詠んだ「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かれぬる」を踏まえた句ではないかと云われています。「秋が来たとはつきり目には見えないけれども、風の音で、ああ秋が来たのだとはっと気付いた」確実に移り変わる季節の一瞬を捉え、且つ和歌を踏まえるという芭蕉の豊かな教養の一端を感じさせる名句。自身も本句を気に入ったこの句の画賛(絵に俳句を書き添えたもの)を多く残しています。

▼今年の7月は、7月として観測史上最も平均気温が高かったと気象庁が発表。昨年の記録を更新する事態に「異常気象分析検討会」は「異常と呼べる顕著な高温が続いている原因は、長期的な地球温暖化に伴う気温の上昇に起因している事は間違いない」と分析／北海道帯広で40度、フランス北部のパリでも40度を超え世界中で記録的猛暑／人間の活動に拠って輩出される温室効果ガス特に二酸化炭素が主因。化石燃料の燃焼や森林破壊等が要因とされ「後戻り出来るか瀬戸際」と警鐘を鳴らしています。(清水)